

平成30年 3月 1日

しょうよう

松陽

太陽のように
まぶしい笑顔で
元気一杯の松陽寮!

第112号

<発行> 広島県立障害者療育支援センター 松陽寮
発行責任者 小家石 龍次
739-0133 東広島市八本松町米満 198-1
TEL 082-428-6671
FAX 082-428-6670
URL <http://www.ryoiku-hiroshima.gr.jp>
E-mail [syoyou@hiroshima-wsc.jp](mailto:syouyou@hiroshima-wsc.jp)



2017.6.20 カーブ2軍戦

松陽祭

11月3日に松陽祭2017が開催されました。今年は松陽寮の改修工事が終わり、リニューアルしてから最初の松陽祭となりました。

イベントには次郎丸太鼓の皆さんが来所され、訓練棟内に響き渡るような大迫力の太鼓演奏を披露されました。利用者の皆さんもくぎ付けとなり、大満足なイベントになりました。

販売コーナーには、あおぞら工房さんとウイングさんに来ていただき、パンやクッキーを販売してもらいました。普段なかなか食べられないこともあり、あっという間に完売！

各ファミリーの展示や販売、飲食等利用者の皆さんも楽しまれたことと思います。

ご協力していただいた関係者の皆さん、ありがとうございました。

2ファミリー（第2支援課） 藤田 拓朗



もちつき

12月5日に毎年年末恒例の餅つきを地域の民生委員さんと一緒に行いました。松陽寮では高齢化が進む中、餅が以前のように食べられない方が増えており、利用者の皆さんは楽しく参加できるのだろうか？と心配しました。しかし、実際の餅つきでは民生委員さんの掛け声に合わせて嬉しそうに餅をつく人や、杵を持ってなくても楽しそうに「よいしょー！よいしょー！」と声を出す人、つきたての餅を触り笑顔になる方々がおられて、非常に賑やかで楽しい餅つきを行うことができました。

民生委員さんからも「皆さん、笑顔で参加されていて良かった。」と話されておられ、来年度も今回のような餅つきを民生委員・利用者の方々と一緒に行っていきたいと思いました。

3ファミリー（第3支援課） 杉原 貴大



くりひろい

1ファミリーでは3年前から、毎年9月にファミリーの行事として栗拾いを行っています。当日は、前もって準備した軍手や火ばさみ等栗拾いの道具をバスに積みこんで出発します。現地に到着すると当初天候の影響もあり心配されましたが、たくさんのいが栗が落ちていました。利用者は座りこんで拾った栗をバケツに入れる人や、火ばさみを持って職員に話かけながら栗を拾う人、いがから栗を取り出す人と、職員も含めて皆さん時間を忘れて夢中で拾いました。途中で購入したジュースを飲んで、楽しいひと時を過ごしました。

後日持ち帰った栗を、蒸しておやつとして利用者へ提供しました。利用者も季節を感じながら、お腹も心も満たされたのでは?と思いました。

1ファミリー（第1支援課） 宮脇 誠



行事予定

3月	3日	課別懇談会	実務研究発表
4月	8日	課別懇談会	
	10日	花見会	
6月	3日	環境整備	課別懇談会

編集後記

今年度も終わりが近づき、平成30年度が始まろうとしています。

新年度には利用者の皆さんの楽しみや喜びが、1つでも増えることを目標にしたいと思います。

今までと同様に、松陽寮を暖かく見守ってください。

市内外出

11月、4ファミリーでは男性・女性の2班に分かれ、市内昼食外出にて昼食会を行いました。待ちに待った食事会に、みなさんわくわくされていました。昼食会の場所は西条の大坪町にある「ちろりん」でした。食事は“もてなし御膳”。お造りに天婦羅、肉料理など品数が豊富であったにも関わらず、皆さんあっという間に完食され「おいしかった」「ごちそうだった」と満足された様子でした。

普段とは別の場所で、普段と違った料理を、みんなで食べる事ができました。

来年度も、皆さんの笑顔を引き出せるような外出を企画していけたらと思います。

4ファミリー（第4支援課） 森 亮介



作品展

平成30年1月17日より23日まで、東広島市芸術文化ホールくららにて「松陽寮作品展2018」が行われました。

各課の利用者と職員と一緒に制作した様々な作品が、会場を賑やかに彩っていました。利用者、保護者だけではなく、一般のお客様も多く来場されて、松陽寮のことを知っていただく良い機会になったのではないかと思います。

この作品展は今年度をもちまして、一旦終了となります。次回は松陽寮40周年の記念行事として行う予定ですのでよろしくお願いします。

1ファミリー（第1支援課） 畠山 晃一

